

一橋大学大学院社会学研究科 特別選考による外国人の修士課程 学生募集要項一式

1. 写真票
2. 募集要項
3. 入学志願票
4. 研究計画書（表紙＋原稿用紙 10 枚）
5. 推薦書
6. 口述試験参考資料
7. 外国からの出願方法について

以上の書類を同封しておりますので、ご確認ください。

※ 来年度の授業科目・担当教員については、一部変更することがあります。

※ 災害等で被害に遭われた大学院受験者の方には、検定料免除の措置があります。詳細については一橋大学ホームページ(<http://www.hit-u.ac.jp/>)の ホーム> 一橋大学で学びたい方へ> 大学院情報 にてご確認ください。

一橋大学大学院社会学研究科事務室
〒186-8601 東京都国立市中 2-1
TEL: 042-580-8213
FAX: 042-580-8210
E-mail: info@soc.hit-u.ac.jp

平成 年度

一橋大学大学院特別選考による
外国人の修士課程入学試験写真票

志望研究科	研究科	受験番号	※
-------	-----	------	---

氏名	(フリガナ)	年 月 日生	男・女
----	--------	--------	-----

写真貼付欄 1. 写真は最近3か月以内に撮影した、正面向き上半身脱帽のもので、タテ6cm×ヨコ4cmの大きさのものを枠内に正しく貼ること。 2. 写真の裏面に志望研究科・氏名を記入すること。	論文	※
	英語 (商のみ)	※
	語学 (経のみ)	※
	口述	※

記入上の注意

1. ※印欄には記入しないこと。
2. 楷書ではっきり書くこと。

※印刷に関する注意

1. 印刷するときはページの拡大・縮小設定を「なし」にしてください。
2. 印刷後は点線で切り離してください。

平成 30(2018)年度 一橋大学大学院社会学研究科 特別選考による外国人の修士課程学生募集要項

社会学研究科は、社会科学の分野において、専門性と総合性を併せ持つ研究者と学識ある高度な専門的職業人を育成することを目的としています。総合社会科学専攻は、各専門分野における学術探究とその総合的発展を担う意欲と創造性を具えた人材の育成をめざしています。地球社会研究専攻は、理論と実践を統合し地球規模の諸問題に取り組む能力をもつ人材の育成をめざしています。

- ・修士課程は、社会科学の幅広い知識と深い問題意識によって支えられた研究基盤と高度な実践能力を具えた人材を育成することを目的としています。(1) 修士課程を修了した後その知見を生かして高度な専門的職業人をめざす方、(2) 博士後期課程への進学を希望する方、のいずれも歓迎いたします。
- ・外国人特別選考は、さまざまな文化や経験を有し、学習意欲と能力ある人材に、学修の機会を提供するために設置されています。

1. 専攻・募集人員

総合社会科学専攻 若干名
地球社会研究専攻 若干名

2. 出願資格

外国籍を有する者のうち日本国の永住許可を取得していない者で、次の(1)～(6)のいずれかに該当する者。または、国籍、永住許可を問わず、次の(1)、(2)のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において当該国が法律で定める学校教育の16年の課程を修了し、B. A. または B. S. を取得した者及び平成30年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において当該国が法律で定める学校教育の15年の(またはそれに準ずる)課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者で、本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該国が法律で定める学校教育の16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (4) 学校教育法第83条第1項の大学を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
(入学時(平成30年4月1日)までの日本滞在期間が3か年以下の者)
- (5) 学校教育法第104条第4項により、学士の学位を授与された者及び平成30年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
(入学時(平成30年4月1日)までの日本滞在期間が3か年以下の者)
- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの及び平成30(2018)年4月1日までに22歳に達するもの。

注1 出願資格の(2)による志願者は、必ず11月24日までに社会学研究科事務室あてに、出願資格についてあらかじめ問い合わせてください。

注2 出願資格(6)による志願者は、出願期間の前に個別の入学資格審査を行います。個別の入学資格審査書類等を本要項の配布開始日から11月24日までの期間に配布しますので、社会学研究科事務室まで問い合わせてください。

個別の入学資格審査に必要な書類の提出期間は、11月20日(月)から11月24日(金)までです。入学資格審査結果は12月8日(金)頃に通知する予定です。

3. 出願期間

平成30年1月17日(水)～1月22日(月)

受付時間は10時から12時、および13時から15時まで。

土曜日・日曜日・祝日は受け付けません。

4. 出願書類・検定料

書 類 等	提出者	摘 要
写 真 票	全 員	1通。所定の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
入 学 志 願 票	全 員	1通。所定の用紙に必要事項を記入してください。
研 究 計 画 書	全 員	3通。1通は所定の用紙を表紙として用い、これまでの学習内容および将来の研究計画について、具体的かつ詳細に日本語で4,000字程度にまとめたもの。他の2通は表紙も含めてそれを複写したもの。 なお、入学後に指導を希望する教員がいる場合は表紙に教員名を付記してください(希望する教員がいない場合は記入する必要はありません)。

推薦書	全員	所定の用紙を用い、出身大学の学長、学部長または指導教員もしくはこれに準ずる者が作成し、厳封したもの1通。ただし、卒業後、出身大学以外の大学等に在籍している者は、その大学等の学長、学部長または指導教員もしくは研究状況や研究目標等について十分な評価をなし得る者の推薦書をもってこれに代えることができます。
口述試験参考資料	全員	1通。所定の用紙に必要事項を記入してください。
卒業（見込）証明書等	全員	出身大学の長が作成したもの1通（注2を参照のこと）。あるいは大学評価・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書または短期大学長もしくは高等専門学校長の発行する学位授与申請（予定）証明書1通。なお、本学卒業（見込）者は、成績証明書をもって代えます。 「2. 出願資格」(1) または (3) による志願者は、取得した学位（B. A. または B. S. 等）を明記した証明書1通をあわせて提出してください。ただし取得見込みの者は卒業見込証明書をもって代えます。
学業成績証明書	全員	1通。出身大学の長が作成したもの。（注2を参照のこと）
研究歴を証明する書類	該当者	1通。大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない者のみ。
在留カードの写し等	全員	1通。在留カード（または外国人登録証明書（在留期間、在留資格が明記されたもの））の写しを提出してください。ただし、在留カード（または外国人登録証明書）が交付されていない者については、パスポートの写しを提出してください。
受験票送付用封筒	全員	1枚。長形3号封筒（23.5 cm×12 cm）に簡易書留相当分（392円）の郵便切手を貼付の上、受験票送付先の郵便番号、住所、氏名を明記してください。ただし、本人が直接持参して出願する場合は不要です。
検定料 30,000円	全員	原則として 出願期間内 に 三井住友銀行 国立支店の 口座名：国立大学法人一橋大学社会学研究科 検定料口 口座番号：（普通預金）7761819 あてに検定料30,000円分を振り込み、 その明細書等の写しを出願書類と一緒に提出してください。 なお、日本政府（文部科学省）奨学金留学生は、検定料は不要ですが、その旨を証明する所属大学発行の証明書を提出してください。

注1 複数の大学を卒業（見込）または大学院を修了（見込）の場合は、すべての大学、大学院における「卒業または修了（見込）証明書」「成績証明書」を提出してください。

注2 提出書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等がある場合には、その日本語訳を添付してください。

注3 外国の証明書で複写したものしか提出できない場合は、大使館等公的機関で原本証明されたものを提出してください。なお、中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館は、中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の文書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証を発行しません。中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の公証・認証手続きは、中国国内の教育部学歴認証センター（北京市）又は各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）において行われます。また、教育部学歴認証センターは、郵便による海外からの認証手続きの申請も受け付けています。中国国内の教育機関卒業（見込）・修了（見込）の方は、早めに手続きを開始するようにしてください。

5. 出願手続

志願者は、上記出願書類を一括し、封筒の表面左下に「**大学院出願書類在中**」と朱書して、**郵送（書留郵便）または持参**により、

〒186 - 8601 東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学大学院社会学研究科事務室

宛てに提出してください。**出願期間（平成30年1月17日～1月22日）内必着です。（なお、持参の場合は、15時まで受け付けます。郵送の場合、1月22日（月）は17時必着です。）**

郵送の場合、出願期間を過ぎて着いたものについては、1月18日（木）以前の消印のあるものに限り受け付けます。

また、外国からの出願を希望する場合は、この「5. 出願手続」ではなく、別紙「外国からの出願方法について」に記載されている方法にしたがって出願してください。

6. 選考方法および選考基準

第1次試験では、論文筆記試験を行います。そこでは、社会科学一般の基礎学力および専門領域の学力を基準に審査します。第1次試験の合格者に対して、第2次試験を行います。第2次試験では、面接による口述試験を行います。そこでは出願書類に基づき、研究にむけた準備状況、研究計画の妥当性および実行可能性等を基準に審査します。併せて、受験者の研究に必要な語学の試験を面接時に行うことがあります。第1次試験と第2次試験の結果を総合し、最終合格者を決定します。

試験ごとの配点は、以下の社会学研究科ウェブサイト「大学院入試Q&A」に掲載されています。

http://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/gs/faq_ss.html

(1) 第1次試験

- 試験室および時間割の発表

日	時	場	所
2月2日(金)	13時	大学内掲示場(法人本部棟南側)	

- 試験日

試験日時	試験科目
2月8日(木) 9時~10時20分	論文試験 ・社会科学の基礎学力を審査する論文 (問題文は日本語で出題。解答には日本語または英語を用いること。) 1題
2月8日(木) 10時40分~12時20分	論文試験 ・専攻科目に関する論文 (問題文は日本語で出題。解答には日本語または英語を用いること。) 1題

- 第1次試験合格者発表および第2次試験の試験室・時間割の発表

日	時	発表方法
2月8日(木)	17時	大学内掲示場への掲示およびウェブサイトへの掲載 (URLは出願者に通知します)

(2) 第2次試験

日	時	試験科目
2月9日(金)	9時~12時頃	口述試験(1人30分程度) 専門科目および語学

(3) 試験場

一橋大学(JR中央線 国立駅下車、南へ徒歩約10分)

※ 第1次試験・第2次試験の際には必ず受験票を持参してください。

7. 合格者発表

日	時	発表方法
2月14日(水)	13時	大学内掲示場への掲示およびウェブサイトへの掲載 (合格者には郵送にも通知します)

8. 入学手続

(1) 入学料の納入期間

平成30年3月2日(金)~3月8日(木)

この期間内に納入がない場合は入学辞退者として取扱います。

(2) 入学料の納入額

282,000円

(注) 本学には入学料の免除・徴収猶予の制度がありますので、希望する場合は、入学料を納入せずに、学生支援課にて申請書類の交付を受けて、所定の期間内に申請を行ってください。(入学料納入後の免除・徴収猶予の申請はできません。また、申請を行っても不許可となることもありますので、入学料納入の準備は事前に十分行っておいてください。)

(3) その他

入学手続に必要なその他の提出書類とその提出期間については、合格者に改めて郵送にて通知します。

授業料(年額535,800円)については、入学後に納入することになります。納入時期・納入方法については改めて通知します。上記納入金額は予定額であり、在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金額が適用されます。

9. 注意事項

(問い合わせについて)

(1) 入学試験に関する事務は、すべて社会学研究科事務室で行います。

(2) 社会学研究科ウェブサイトの「受験生の皆さんへ」欄には、「Q&A」が用意されています。その他、入学試験に関する照会は、住所、氏名を明記のうえ、書面または電子メールで行ってください。電話での問い合わせには応じられません。

<http://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/gs/faq.html>

(他の募集、併願について)

(1) 本研究科の社会人特別選考に出願した外国人は、この外国人特別選考試験に出願できません。また、総合社会科学専攻修士課程春期募集および地球社会研究専攻修士課程春期募集との併願は認めません。

(2) 総合社会科学専攻修士課程春期募集および地球社会研究専攻修士課程春期募集については、別に募集要項を配布します。

(専攻および研究分野について)

- (1) 出願後の志望専攻の変更は認めません。
- (2) 総合社会科学専攻を志望する者は、入学後所属することを志願する研究分野を1つ選択して、研究計画書に明記してください(演習担当教員一覧参照)。入学後、この研究分野に所属している教員以外を指導教員(第一演習担当教員)として選ぶことは原則としてできませんので、志願する研究分野は慎重に選択してください。研究分野についての詳しい説明は、社会学研究科ウェブサイトの「履修ガイド」にあります。

(提出書類について)

- (1) 志願者が記入する出願書類は、すべて印字または黒のボールペンで記入してください。
- (2) 出願書類および検定料は返却しません。また、「4. 出願書類・検定料」において明記されている場合を除き、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません。
- (3) 外国政府派遣留学生は、入学手続き時に派遣元機関からの入学承諾書が必要となります。

(身体に障害を有する入学志願者の事前相談について)

身体機能に障害があり、受験時や入学後の学習に特別の措置を必要とする志願者は、その旨を出願期間前に社会学研究科事務室に申し出てください。申し出にしたい、所要の措置を講じます。なお、この申し出によって不利益を被ることはありません。

(プライバシー・ポリシー)

入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。

(国際学生館景明館及び国際学生宿舎(学生寮)について)

本学国際学生館景明館及び国際学生宿舎(学生寮)への入居希望者は、平成29年12月中に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。

<http://hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html> (国際学生館景明館)

<http://international.hit-u.ac.jp/jp/curr/accom/apply.html> (国際学生宿舎)

社会学研究科 ウェブサイト <http://www.soc.hit-u.ac.jp/>

社会学研究科 電子メールアドレス info@soc.hit-u.ac.jp

※ アドミッション・ポリシーについては以下のページをご覧ください。
<http://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/>

平成30(2018)年度

一橋大学大学院社会学研究科 演習担当教員一覧

(※印のある教員は平成30年度の第一演習を担当しません。)

総合社会科学専攻

(社会動態研究)

町村敬志教授(社会学・社会調査)
菊谷和宏教授(社会学) fra
多田治教授(社会学)
深澤英隆教授(宗教学・宗教社会学)
小林多寿子教授(社会調査・社会学)
小井土彰宏教授(国際社会学)
佐藤文香教授(ジェンダー研究)

(社会文化研究)

加藤泰史教授(社会哲学) eng, deu
大河内泰樹教授(社会哲学) eng, deu
井頭昌彦准教授(社会哲学)
森村敏己教授(社会思想)
井川ちとせ教授(英語圏文芸思想) eng
久保哲司教授(独語圏文芸思想) deu
中野知律教授(仏語圏文芸思想)
洪郁如教授(中国語圏・台湾社会文化史) zho
五十嵐陽介准教授(言語学・音声学・ロシア語学)

(人間行動研究)

安川一教授(社会心理学)
稲葉哲郎教授(社会心理学)
※春日直樹特任教授(社会人類学)
大杉高司教授(社会人類学) eng
久保明教准教授(社会人類学)
児玉谷史朗教授(社会地理学・アフリカ地域研究)
上田元教授(社会地理学・地域環境論) eng
大坪俊通教授(地球科学)
大瀧友里奈教授(環境科学)

(人間・社会形成研究)

木村元教授(教育社会学)
中田康彦教授(教育社会学)
山田哲也教授(教育社会学)
太田美幸教授(教育社会学)
尾崎正峰教授(スポーツ社会学)
坂上康博教授(スポーツ社会学) eng

(人間・社会形成研究) 続き

坂なつこ教授(スポーツ社会学)
鈴木直文准教授(スポーツ社会学) eng
吉田裕特任教授(政治学)
中北浩爾教授(政治学)
田中拓道教授(政治学) eng, fra

(総合政策研究)

倉田良樹特任教授(雇用関係・雇用政策)
西野史子准教授(雇用関係・雇用政策) eng
林大樹特任教授(コミュニティ政策)
猪飼周平教授(社会政策)
堂免隆浩教授(都市・地域政策)
白瀨由美香教授(社会福祉・社会政策)

(歴史社会研究)

渡辺尚志教授(社会史日本)
若尾政希教授(社会史日本)
石居人也教授(社会史日本)
佐藤仁史教授(社会史アジア) zho
加藤圭木専任講師(社会史アジア) eng
阪西紀子教授(社会史ヨーロッパ)
森村敏己教授(社会史ヨーロッパ)
秋山晋吾教授(社会史ヨーロッパ) fra, hun
中野聡教授(社会史アメリカ) eng
貴堂嘉之教授(社会史アメリカ) eng

地球社会研究専攻

赤嶺淳教授(グローバル地球研究・地球環境学) eng
足羽與志子教授(相関文明論・平和社会論・文化人類学) eng, sin
太田美幸教授(地球市民論・教育社会学)
大瀧友里奈教授(水環境学)
大坪俊通教授(地球情報論・地球科学)
児玉谷史朗特任教授(国際協力論・開発研究)
多田治教授(地球情報論)
福富満久教授(国際政治学・国際関係論)
宮地尚子教授(平和社会論・文化精神医学)
ジョナサン・ルイス教授(地球情報論・政治学) eng

指導可能な言語に関する記号一覧

deu ドイツ語、eng 英語、fra フランス語、hun ハンガリー語、sin シンハラ語、zho 中国語

なお、博士号の学位請求論文は日本語もしくは英語で執筆するものとされています。

受験番号	※
------	---

平成 年度
一橋大学大学院特別選考による
外国人の修士課程入学志願票

記入上の注意

1. 記入は楷書又はローマ字体を用い、数字は算用数字を用いること。
2. 年号はすべて西暦とすること。
3. 固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。
4. 学歴欄に記入できない場合は、適当な別紙に記入のうえ添付すること。
5. 政府等の機関からの派遣留学生は、備考欄に機関名を記入すること。

志望研究科 専攻名	研究科 _____ 専攻 _____						
研究題目							
氏名	(自国語) _____, _____, _____ (Family name) (First name) (Middle name)				性別		
	(ローマ字) _____, _____, _____ (Family name) (First name) (Middle name)				男・女		
生年月日	19 年 月 日生 満 才 月 (出願時)						
入国年月日	年 月 日						
出身大学	大学 学部 学科						
	年 月			卒業 卒業見込			
国籍			メールアドレス				
自国における住所・連絡先		電話					
日本における住所・連絡先		〒 _____ 電話					
学歴 (小学校入学から記入すること)	課程/事項	学校名及び所在地		正規の修業年限	入学及び卒業年月	専攻分野	取得学位等
	初等教育 小学校	学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月		
	中等教育 中学校	学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月		
	中等教育 高等学校	学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月		
	高等教育 大学	学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月		
		学校名 所在地		年	入学 年 月 卒業 年 月		
以上を通算した全学校教育修学年数				年			

裏面へつづく

研究 歴	研究機関名	研究年数	研究期間	研究テーマ
				年 月から 年 月まで
			年 月から 年 月まで	
職 歴	勤務先名	勤務年数	勤務期間	勤務内容
			年 月から 年 月まで	
			年 月から 年 まで	

備考欄

受験番号
※

平成 年度

一橋大学大学院社会学研究科 特別選考による
外国人の修士課程入学志願者 研究計画書

● 専 攻

(↓ 志望する専攻欄に ○ を記入すること)

	総合社会科学専攻 (志望する研究分野を ○ で囲むこと) 社会動態研究 社会文化研究 人間行動研究 人間・社会形成研究 総合政策研究 歴史社会研究
	地球社会研究専攻

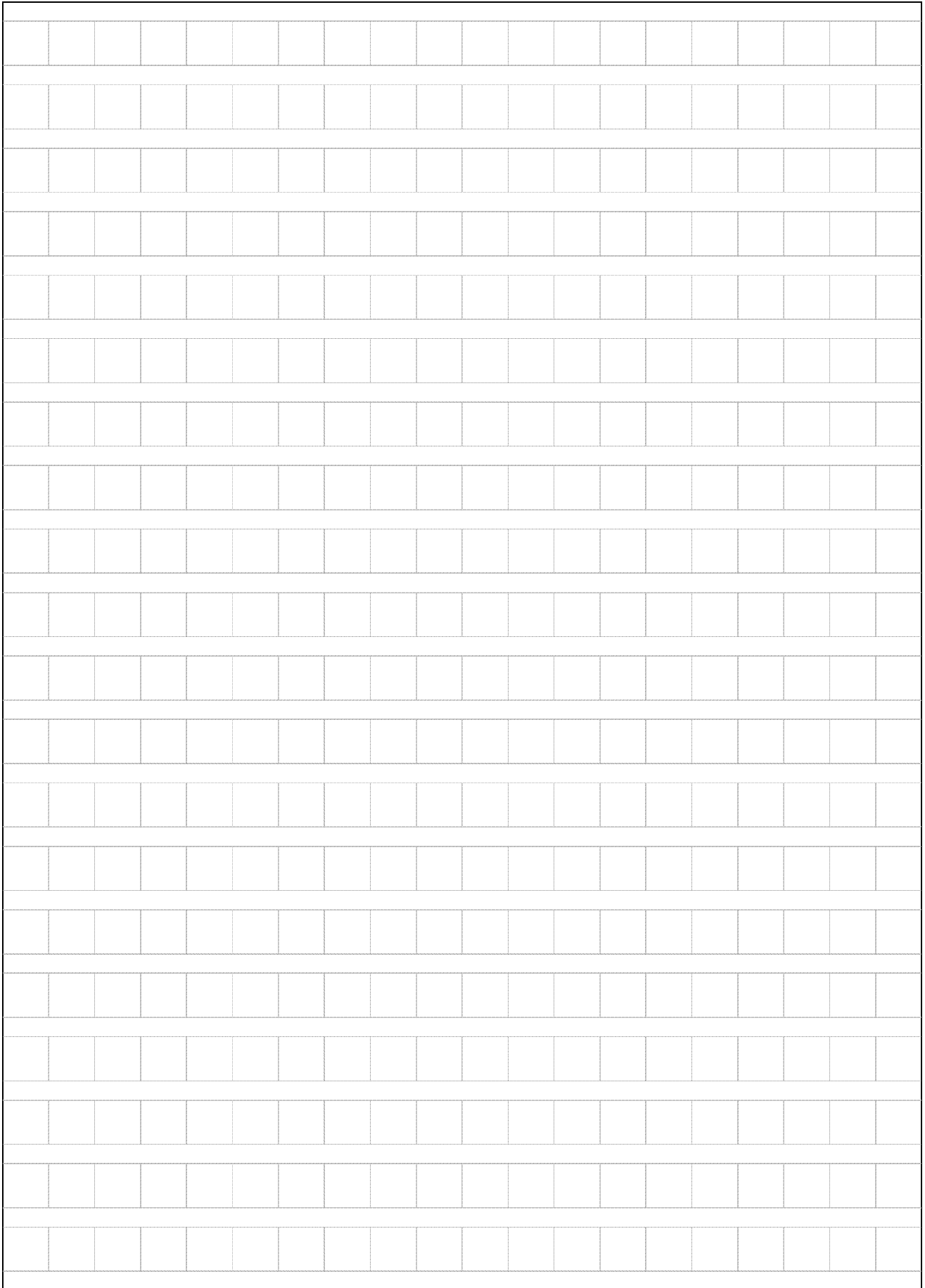
● 研究題目 (具体的に)

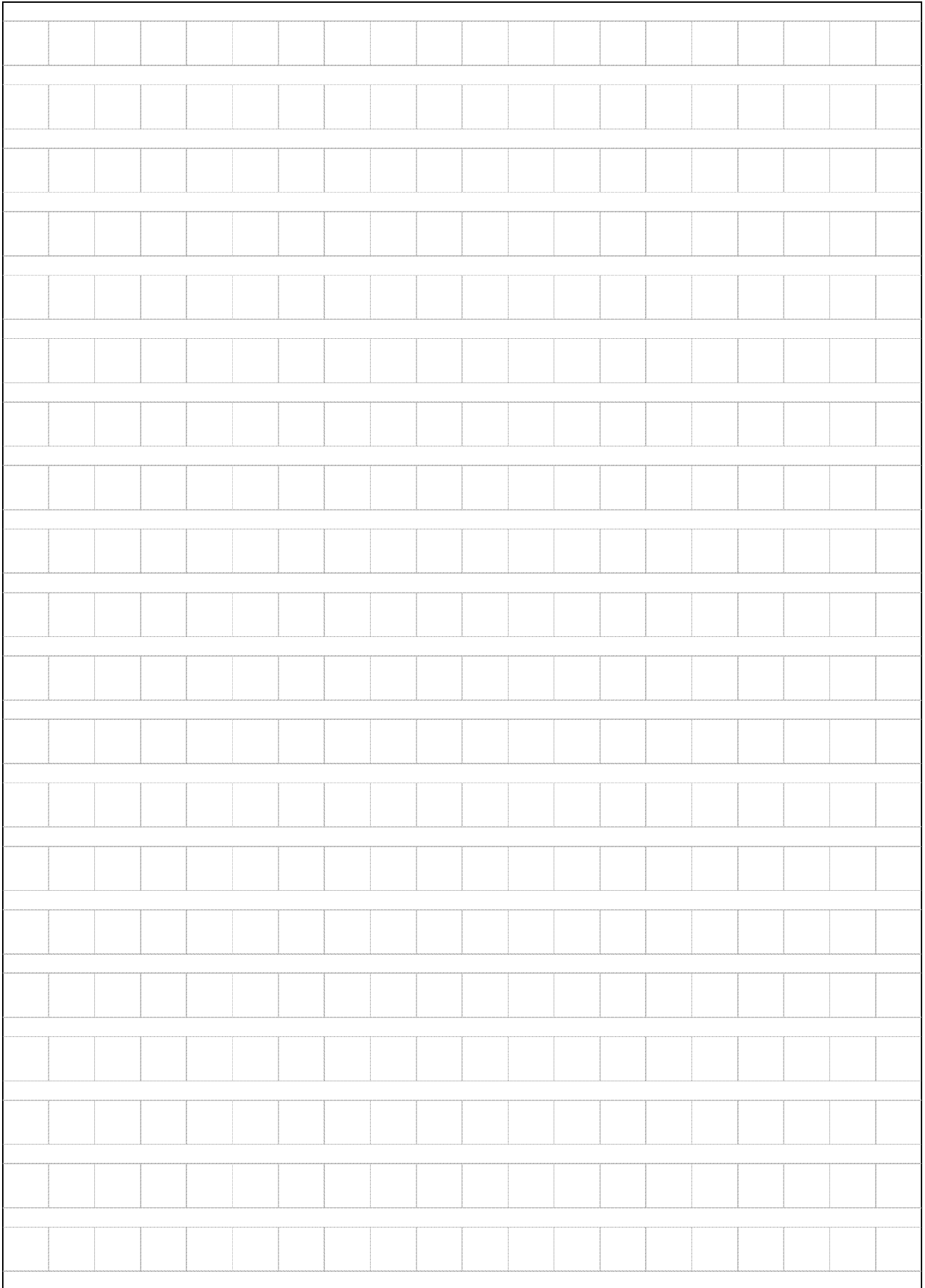
● 氏 名

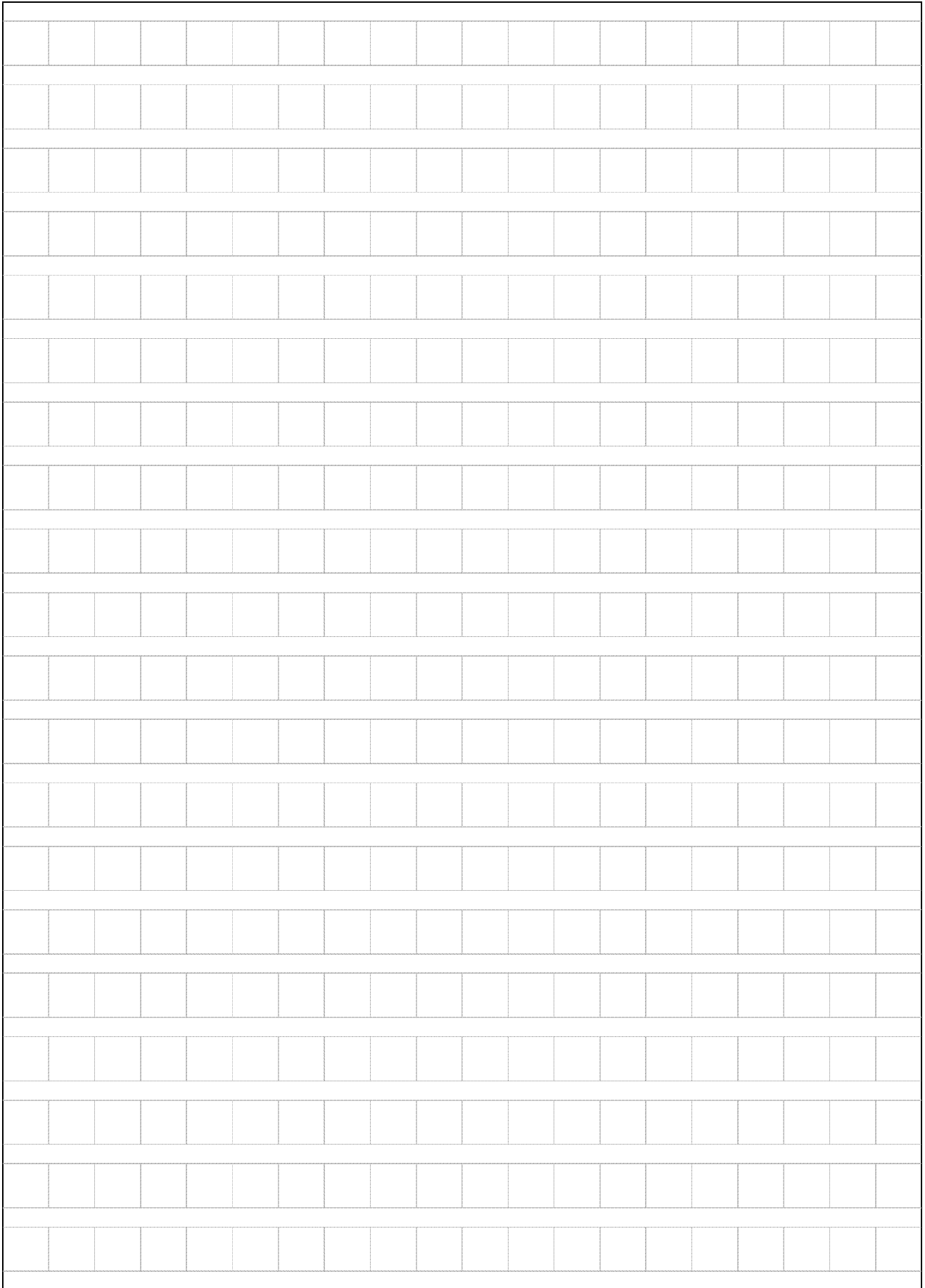
● 希望指導教員

【 注 意 】

1. これまでの学習内容および将来の研究計画について、具体的かつ詳細に 日本語(自筆)で4000字程度にまとめること。
2. 必ず、研究計画書の最後に今までに勉強した研究課題に関連する文献等を記入すること。
3. 所定の原稿用紙に横書きで記入し、左とじとすること。
4. 「※」印欄には記入しないこと。
5. この表紙も含め、2通複写して合計3通を提出すること。

A large grid of 20 rows and 20 columns, resembling graph paper or a ledger. The grid is composed of thin black lines forming a 20x20 array of small squares. The grid is centered on the page and occupies most of its vertical and horizontal space.





20 × 20

一橋大学大学院特別選考による外国人の 修士課程入学試験出願者推薦書

Letter of Recommendation to be submitted to
The Graduate School of Hitotsubashi University

出願者氏名

Name of Applicant : _____
(please print) Family Name, First Name, Middle Name

専攻分野

Field of Study : _____

(推薦書の趣旨)

成績証明書その他の公式文書だけからは、出願者のすぐれた素質や能力を十分に判定できないことがあります。そこで、出願者個人についてよくご存知の方から、本人の研究者としての素質や将来性について率直な評価を聞かせて頂き選考の際の参考資料としたいと思っております。お書き頂いたことは極秘情報としてあつかいますので、御意見を自由に述べて頂ければ幸いです。(日本語または英語でご記入ください。)

(Purpose of this Letter of Recommendation)

Formal records do not always reveal the individual's distinguishing intellectual traits or abilities which may be of great value in choosing among a large number of applicants with relatively similar academic records. For this reason, the Graduate School of the University would greatly appreciate your cooperation in supplying confidential information concerning the applicant's ability and potential in the proposed field of study. (Please use either Japanese or English.)

1. どのくらいの期間、出願者を知っておられますか。また、出願者とはどのような関係（たとえば教師）にありますか。

How long and in what capacity have you known the applicant?

2. この出願者は、大学院に進学した場合、十分な成果をあげると期待できますか。またその理由をお聞かせください。

If accepted, how successful do you think the applicant will be as a graduate student at the University? Please give reasons for your answer.

3. この出願者に、他の学生とくらべて、どのような長所があると考えられますか。また、どのような短所がありますか。

Please compare the applicant with other students known to you in terms of ability and other personal traits required for academic research. Does the applicant have any weak points?

4. この出願者に関し、下記の諸点について、率直な評価をお聞かせください。(必要と考えられるときは評価の理由もお聞かせください。)

Please rate the applicant in the following six areas. Please supply reasons for your rating.

	Excellent	Above average	Average	Below average
(a) 素質または能力 Intellectual ability				
(b) 一般教養の程度 Breadth of general knowledge				
(c) 表現能力 (口頭) Oral expression				
(d) 表現能力 (文章) Written expression				
(e) 忍耐力 Perseverance				
(f) 独創性 Imagination and creativity				

5. その他、とくに本人について何かお気づきの点がありましたらお聞かせください。

Please supply any other information with regard to the applicant that you consider relevant.

年 月 日 (Date)

推 薦 者 (Recommender)

氏 名 Name (Please print)

職 業 Title

所 属 Institution

連 絡 先 Address

署 名 Signature

平成 年度
一橋大学大学院特別選考による外国人の
修士課程入学志願者口述試験参考資料

志 願 研 究 科	受 験 番 号
研究科	

氏 名	(フリガナ)
--------	--------

1. 志願者の母国語（それに準ずるものを含む）

_____ 語

2. 母国語以外に修得した外国語（日本語を除く）

_____ 語 _____ 語

	よくできる	普通	やや困難
読む			
書く			
話す			

	よくできる	普通	やや困難
読む			
書く			
話す			

[それぞれの外国語について、該当する欄に○をつけること]

外国からの出願方法について

①日本在住の代理人に依頼する場合(できる限りこちらの方法をとってください)

日本在住の代理人に、募集要項にしたがって①検定料の振り込み、および②出願書類を一括し出願期間内に必着するように郵送(書留郵便)することを依頼してください。持参の場合は、あらかじめ検定料を振り込んでもらい、その明細書等の写しを出願書類と一緒に社会学研究科事務室に提出することを依頼してください。

②本人が直接出願する場合(①の方法がとれない場合のみこちらの方法をとってください)

●検定料の納入はクレジットカード決済で行ないます。

一橋大学ウェブサイト HOME(<http://www.hit-u.ac.jp/>)から<一橋大学で学びたい方へ>にアクセスし、「大学院情報」欄の「国外からの大学院受験(検定料の納付)について」(<http://www.hit-u.ac.jp/admission/postgraduates/announce.html>)より「検定料支払い画面へ」をクリックして入力画面に進み、指示にしたがって検定料を納入してください。

出願書類を送付する時には、検定料の納入を済ませ、ウェブ上の納入確認画面をプリントアウトしたものを添付してください。

検定料の納入は平成 30(2018)年 1 月 4 日(木)～1 月 16 日(火)(日本時間)に行なってください。

●志願者は、募集要項「4. 出願書類・検定料」にある出願書類を一括し、封筒の表面左下に「APPLICATION DOCUMENTS」と朱書して、EMS(国際スピード郵便)等の記録に残る方法で

Hitotsubashi University, Graduate School of Social Sciences

2-1 Naka, Kunitachi, Tokyo 186-8601, JAPAN

(〒186-8601 東京都国立市中 2 丁目 1 番地 一橋大学大学院社会学研究科事務室)

宛てに送付してください。出願締切は平成 30 年 1 月 22 日 17 時(日本時間)です。出願期間以降に受取った出願書類については一切受け取れません。(その場合、検定料は返還します。)

●受験票は出願受け後、EMS(国際スピード郵便)でお送りします。そのため、(募集要項「4. 出願書類・検定料 “受験票送付用封筒”」の代わりに)宛て先を書いた封筒(サイズ自由)と、日本からその宛て先に EMS で郵送するのに十分な額面の国際返信切手券(International Reply Coupon)を出願書類と一緒に送りください。(アジア 900 円分、オセアニア・北米・中米・中近東 1,200 円分、ヨーロッパ 1,500 円分、南米・アフリカ 1,700 円分)

注意

※ ビザ(受験用ビザ・合格後の留学ビザ)取得の手続きについて、一橋大学は一切関与いたしません。出願者が手続きについて事前に充分確認し、自らの責任で手続きを行なってください。

※ 検定料については、ビザの取得が間に合わなかったという理由で受験しなかった場合には、返還できません。

※ 本人が外国から直接出願する場合には、郵送上のトラブル等本人に責任がない出来事によって手続きが完了しなかったケースでも、出願を受け付けられないことがあります。この点、あらかじめご了承ください。

一橋大学大学院社会学研究科